

国際化推進事業

1 国際交流員及び多文化共生講師による交流事業の実施

総務省、外務省、文部科学省及び一般財団法人自治体国際化協会の協力の下に実施する「語学指導等を行う外国青年招致事業（JET プログラム）」による国際交流員を令和 6 年 8 月から配置しています。

また、市内の公民館等で実施される国際理解講座等で、外国人市民が母国の文化等を日本語で紹介する多文化共生講師を令和 4 年度から養成し、国際交流員と多文化共生講師が市民と自由なトピックで対話する「Have a Chat!」を開催しています。

国際交流員の紹介

委嘱期間	国際交流員名	出身国・地域
令和 6 年 8 月 5 日～	ウォールガー・ダニエル	英国 サウサンプトン

（１）派遣事業

地域レベルでの国際交流及び国際理解の推進を図るため、国際交流員を市の関係機関が実施する国際理解・交流事業に派遣しました。

実施状況（国際交流員）

派遣日	派遣先	内容等
8 月 28 日	広島市こども青少年支援部	外国文化理解
9 月 17 日	大河公民館	外国文化理解
10 月 30 日	矢野西小学校	外国文化理解

（２）対話事業

国際交流員及び多文化共生講座講師（外国人）が市民と自由なトピックで対話する「Have a Chat!」を対面及びオンラインで開催しました。

実施状況

	区 分	会 場	回数	開催日	参加人数
国際交流員	対面	国際会議場研修室	5 回	4 月、7 月、10 月、12 月、3 月	47 人
	オンライン	—	5 回	4 月、7 月、10 月、12 月、3 月	11 人

多文化共生講師	対面	国際会議場研修室	7回	5月、6月、8月、9月、11月、1月、2月	74人
	オンライン	—	7回	5月、6月、8月、9月、11月、1月、2月	13人

2 情報紙の発行

広島市在住外国人の生活に役立てるため、広島市の広報紙「ひろしま市民と市政」の記事や生活情報を掲載した広島市多言語ニューズレター「Hiroshima NOW」を毎月1回発行し、配布するとともに、国際市民交流課ホームページに掲載しました。

- ・ Hiroshima NOW（A4判、やさしい日本語、英語、スペイン語、中国語、ベトナム語、ポルトガル語） 月1回発行
- ・ 配布場所：広島国際会議場3階 国際市民交流課、広島市内各区役所、関係機関、市内の日本語教室など
- ・ 「Hiroshima NOW」やさしい日本語版
(URL) https://h-ircd.jp/hiroshima_now



情報紙「Hiroshima NOW」



3 国際交流・協力団体との連携

時代の変化や市民のニーズに合った効果的な事業を推進していくために、地域国際化協会や二国間交流団体関係機関との連携を図り、各種情報の収集や事業の調整等を行っています。

（１）中国・四国地区地域国際化協会連絡協議会への出席

開催日 令和7年12月15日（月）～16日（火）
場 所 （公財）ひろしま国際センター（広島市）
内 容 各団体の概要報告、意見交換、研修会
出席人数 7人

（２）二国間団体

本財団の理事長が理事を務めるとともに、二国間団体が行う交流事業等に協力しています。

理事を務める団体	広島インドネシア協会、広島オーストリア協会、広島カナダ協会、広島県日韓親善協会、広島シンガポール協会、広島日米協会
その他の団体	広島日英協会、広島日仏協会、広島日伯協会、広島ベトナム協会

4 通訳ボランティアの研修・派遣事業

外国人市民の増加に伴い、区役所、学校等での相談等で、母国語による通訳ボランティアを派遣する必要性が高まっています。

このため、通訳ボランティアを対象にした研修会を開催するとともに、学校や行政機関からの依頼を受け通訳ボランティアを派遣し、外国人市民の支援を行っています。

(1) 通訳ボランティア研修会

開催日 令和8年2月14日(土)

対象 通訳ボランティア登録者

参加人数 15人

内容 通訳としての心構え・倫理研修、語学研修(英語)

(2) 通訳ボランティアの派遣

派遣先	件数	言語	内容
幼稚園 保育園	7件	英語 3件 3人 中国語 2件 2人 ベトナム語 1件 1人	入園説明、個人懇談会
小学校	19件	英語 6件 6人 中国語 10件 10人 ネパール語 1件 1人 ベトナム語 2件 2人	転校手続き説明、個人懇談会ほか
中学校	6件	英語 5件 5人 ベトナム語 1件 1人	進路説明会、個人懇談会ほか
行政機関等	7件	英語 4件 19人 中国語 1件 1人 ベトナム語 1件 1人	平和記念式典、育児相談ほか
計	39件	39件 54人(一部重複あり)	

(3) 登録状況

登録人数 計 77人

令和8年3月31日現在

英語	中国語	スペイン語	韓国・朝鮮語	ベトナム語	フランス語	ドイツ語	ロシア語	その他の言語※
45人	12人	5人	3人	1人	2人	3人	1人	5人
58.4%	15.6%	6.5%	3.9%	1.3%	2.6%	3.9%	1.3%	6.5%
計 77人(重複登録あり)								

※ネパール語 2人、ポルトガル語 1人、クメール語 1人、モンゴル語 1人

5 外国人市民の総合相談窓口事業

日本語で円滑にコミュニケーションをとることができない外国人市民等に対して、平成21年度から多言語（英語、中国語、ベトナム語、ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語）で対応できる相談窓口を開設し、窓口や電話での相談、生活関連情報の提供、行政機関等への同行通訳、電話による通訳などを行っています。また、総合相談窓口において広島出入国在留管理局職員による在留資格等に関する専門相談を月1回（第2金曜日）実施しています。

令和3年度からは、広島広域都市圏連携事業として、相談の対象を安芸郡4町（府中町、^{あき}^{ふちゅう}海田町、^{かいだ}^{くまの}熊野町、^{さか}坂町）に拡大し、「広島市・安芸郡外国人相談窓口」として4町と共同運営しています。

また、ウェブサイトを活用して8言語（やさしい日本語、英語、スペイン語、中国語、ハングル、フィリピン語、ベトナム語、ポルトガル語）で生活関連情報の発信を継続して行っています。

さらに、本市へ転入してきたウクライナからの避難者に対し、各種行政手続支援や生活相談等を受ける際、ロシア語の通訳者を手配・派遣しました。

（1）開設場所及び日時

開設場所 広島国際会議場3階 国際市民交流課内

開設日時 月曜日から金曜日の午前9時から午後4時まで

※ 祝日、年末年始、8月6日及び広島国際会議場の休館等により臨時に相談窓口を閉室する場合は除きます。

※ 広島出入国在留管理局の出張相談は、第2金曜日の午後1時30分から午後4時まで行っています。（事前予約制）

対応言語 英語、中国語、ベトナム語、ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語

※ フィリピン語は金曜日と第1と第3水曜日

【区役所等へ出張相談】

① 安芸区役所（区政調整課）

第2水曜日（ポルトガル語）及び第3木曜日（スペイン語）

午前10時15分から午後4時まで

② 基町管理事務所

第2火曜日（中国語）

午前10時15分から午後4時まで

※令和8年3月27日（第4金曜日）にベトナム語による出張相談を実施

(2) 対応状況

● 広島国際会議場

開所日数	延べ対応件数	主な相談内容
242 日	1100 件 〔相談・通訳 995 件 翻訳 105 件〕	教育 ----- 236 件 (21%) 福祉サービス ----- 160 件 (15%) 入国・在留 ----- 96 件 (9%) 社会保険・年金 ----- 78 件 (7%) 行政手続 ----- 55 件 (5%)

● 区役所等への出張相談

① 安芸区役所（区政調整課）

ポルトガル語 開所日数 11 日／相談件数 17 件

スペイン語 開所日数 12 日／相談件数 0 件

② 基町管理事務所

中国語 開所日数 11 日／相談件数 21 件

ベトナム語 開所日数 1 日／相談件数 0 件

6 外国人市民の日本語能力向上支援事業

外国人市民の増加や定住化が進む中、外国人市民が生活に必要な日本語能力を身に付けられるよう、日本語教育施策の重要性が高まっています。

令和元年度、広島市は実情に即した日本語教育施策の推進とその体制づくりのため、実態や課題を調査し、推進計画を策定しました。これに基づき、広島平和文化センターでは令和 2 年度から、日本語教室開催等の具体的な施策を実施しています。

(1) 日本語教育コーディネーターの配置

日本語教育総括コーディネーター1 人と、日本語教育地域コーディネーター2 人を配置しました。当センターの日本語教育に関する事業を企画するとともに、ボランティア日本語教室や企業の視察、聞取り等を行いました。

(2) 入門レベルの日本語講座の開催

① 春期講座・秋期講座

初めて日本語を学ぶ外国人市民向けに、ひらがな・カタカナや基礎的な会話など入門レベルの日本語講座を実施しました。

学習内容を定着させるとともに、広島について日本人市民と共通の話題を持つことを目的として、2 回のアクティビティ（書道体験、茶道体験）も取り入れました。

開催回数 春期：22 回、秋期：22 回

会 場 広島国際会議場 3 階研修室

受講者数 24 人

② ウクライナ避難民に対する少人数日本語講座

広島市に滞在しているウクライナ避難民が早期に自立した生活を行うことができるよう、世帯単位の少人数指導を行いました。

実施場所 広島国際会議場 3 階研修室

受講人数 1 世帯 1 人

(3) 日本語教育関連事業

① 「やさしい日本語」連続講座

難解な言葉を簡単な言葉に言い換えて話す、一文の情報量を少なくする等を意識した「やさしい日本語」を使って、外国人市民とコミュニケーションを取るための講座を夏と冬の 2 期開催しました。「やさしい日本語」の概要や用法を知るだけでなく、実際に外国人と「やさしい日本語」を使ってコミュニケーションを取りながら地域の課題や防災について学ぶ内容としています。



やさしい日本語連続講座

開催概要

	夏 期	冬 期
開 催 日	第 1 回 8 月 20 日 (水) 第 2 回 8 月 27 日 (水) 第 3 回 9 月 3 日 (水)	第 1 回 1 月 19 日 (月) 第 2 回 1 月 26 日 (月) 第 3 回 2 月 2 日 (月)
場 所	IGL 医療福祉専門学校	トリニティカレッジ広島 医療福祉専門学校
受講人数	第 1 回：日本人 25 人、外国人 1 人 第 2 回：日本人 23 人、外国人 27 人 第 3 回：日本人 18 人、外国人 37 人	第 1 回：日本人 22 人、外国人 2 人 第 2 回：日本人 20 人、外国人 29 人 第 3 回：日本人 20 人、外国人 29 人
講師・内容	・ひろしま国際センター日本語常勤講師 (「やさしい日本語」とは何か、その使い方) ・広島市日本語教育総括コーディネーター、広島市環境局職員 (地域のルール：ゴミ出しを題材とした外国人と日本人による「やさしい日本語」の練習) ・広島大学大学院助教 (防災について共に考えるワークショップ)	

② 文化交流イベント

ボランティア日本語教室の少ない市西部で、過去に日本語ボランティア養成講座を受講した方や日本語教室の立ち上げに関心のある方が顔を合わせ、「ヘナアート」を通じて外国人住民と交流する機会を設けました。

開 催 日 令和 8 年 2 月 14 日 (土)

講 師 サンティア ハリハラン氏

場 所 楽々園公民館
 受講人数 13 人
 内 容 ヘナアートワークショップ

③ 多文化共生講座講師の養成・登録、地域での国際理解講座への講師紹介

市内の公民館等で実施される国際理解講座等で、外国人市民が母国の文化等を日本語で紹介する多文化共生講師を令和 5 年度から養成し、希望団体等に紹介しています。

(ア) 多文化共生講座講師の養成・登録

令和 7 年度は新たに 4 人の外国人市民を対象に日本語によるプレゼンテーション能力向上のための研修会を実施しました。

開 催 日 令和 7 年 6 月 1 日（日）、6 月 15 日（日）、6 月 29 日（日）
 講 師 ひろしまグローバルプラットフォーム「ソトカラ」代表 濱長真紀氏^{はまなが まき}
 場 所 広島国際会議場 3 階研修室
 受講人数 外国人市民 4 人（登録 4 人）

(イ) 地域での国際理解講座への講師紹介

多文化共生講師（令和 8 年 3 月 31 日現在）

登録者	出身地
13 人	中国、台湾、ベトナム、スリランカ、バングラデシュ、マダガスカル、ウクライナ、アメリカ

実施状況（多文化共生講師）

派遣日	派遣先	講師出身地
9 月 6 日	皆賀公民館	ウクライナ
9 月 6 日	古市公民館	マダガスカル
9 月 23 日	にほんごカフェからふる (市内の日本語教室)	マダガスカル
10 月 1 日	祇園西公民館	ウクライナ
10 月 19 日	井口公民館	マダガスカル
11 月 1 日	瀬野公民館	マダガスカル
12 月 20 日	広島市西地域交流センター	ウクライナ
1 月 17 日	馬木公民館	スリランカ
2 月 28 日	八幡東公民館	バングラデシュ

（４）日本語ボランティア養成講座（Ⅰ～Ⅲ）の開催

日本語ボランティアとして活動を始めたい市民とすでに活動している市民のニーズにきめ細かく応え、日本語教育に地域で参画する市民の能力・資質・モチベーションの向上につながるよう、３コースに分けて実施しました。

また、本講座の受講者が「入門レベル日本語教室」にサポーターとして参加する機会を設けました。

① 日本語ボランティア養成講座Ⅰ

開催回数 ５回（令和７年９月３０日～１０月２８日の火曜日）

場 所 広島国際会議場３階研修室

講 師 広島 YMCA 専門学校 言語コミュニケーション科専任講師

対 象 日本語ボランティア活動経験のない方

受講人数 ３６人

② 日本語ボランティア養成講座Ⅱ

開催回数 ７回（令和７年５月１２日～６月２３日の月曜日）

場 所 広島国際会議場３階研修室

講 師 広島 YMCA 専門学校 言語コミュニケーション科専任講師

対 象 日本語ボランティア歴１～２年の方

受講人数 ２１人

③ 日本語ボランティア養成講座Ⅲ

開催回数 ７回（令和７年５月１５日～６月２６日の木曜日）

場 所 広島国際会議場３階研修室

講 師 広島 YMCA 専門学校 言語コミュニケーション科専任講師

対 象 日本語ボランティア歴３年以上の方等

受講人数 １３人

（５）地域の日本語教室立ち上げへの支援

新たにボランティア日本語教室を立ち上げることを検討する方々に、日本語教育コーディネーターが団体運営に関する相談対応を行いました。

（６）広島市日本語教室ネットワーク会議

ボランティア日本語教室の活性化を図り、互いに連携協力できる関係づくりを進めるため、ボランティア日本語教室で活動するボランティアが自由に意見・情報交換できる場を提供しました。

開 催 日 令和８年２月１７日（火）

内 容 地域日本語教室ボランティア間の意見交換、情報提供

参 加 者 １７人（１５教室）

7 外国人市民のための生活ガイドブックの作成

外国人にも暮らしやすいまちづくりを推進するため、外国人市民向けに日常生活に必要な行政サービスや生活関連情報をまとめた「外国人市民のための生活ガイドブック」を8言語（やさしい日本語、英語、中国語、ハングル、ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語、ベトナム語）で作成（時点修正）し、広島市及び本財団のホームページで公開しました。

また、二次元コードを端末機器等で読み取ることで外国人市民のための生活情報サイトに繋がり、手軽に情報を入手することができるリーフレット版「外国人市民のための生活ガイドブック」を8言語（やさしい日本語、英語、中国語、ハングル、ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語、ベトナム語）で作成しました。同リーフレットは、広島市関係機関や広島国際会議場3階国際市民交流課でも配布しています。

加えて、「外国人市民のための生活ガイドブック」のうち、「家庭ごみの正しい出し方」をインドネシア語、ネパール語、タイ語、ミャンマー語で作成し、本財団のホームページで公開しました。



外国人市民のための生活ガイドブック
(リーフレット版)

8 災害時の外国人市民支援に係る研修の実施

(1) 外国人市民のための防災研修

外国人市民を対象に、体験やゲーム等日本語が不自由であっても伝わりやすいツールを通じて日本の災害とはどのようなものか認識してもらい、適切な避難行動につなげてもらうよう防災意識の向上を図るための研修を2回実施しました。

開催概要

	第1回	第2回
開催日	令和7年12月7日(日)	令和8年2月28日(土)
会場	古田公民館	広島市総合防災センター
内容	「防災〇×クイズ」や「非常食パン食い競争」等レクリエーションを通じて防災の基礎知識を日本人住民と共に学ぶプログラムを実施。	日本で頻発する地震や豪雨等の疑似体験を通して災害や防災に関心を持ってもらうプログラムを実施。
参加人数	30人	34人

（２）広島市災害通訳等ボランティア研修

広島市が運営する災害通訳等ボランティア等を対象に、災害時における対応を身に付け、通訳・翻訳のスキル向上を図るための研修を実施しました。

開 催 日 令和 8 年 2 月 7 日（土）

会 場 広島国際会議場 3 階研修室

内 容 災害時の外国人支援概要、語学研修（英語）、避難所巡回訓練

参加人数 15 人